

疾患の治療と看護Ⅸ	2年・後期	1単位 15時間	講師 佐藤亜紀
科目カテゴリー	看護の対象理解	科目ナンバリング	32210382

### 1. 授業のねらい・概要

疾患の治療と看護Ⅸでは、学生が適切な看護実践が行えるよう、精神疾患とその治療およびそれらの疾患を持つ患者への看護についての知識を習得することを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 精神症状の病態生理と症状，精神疾患の分類を説明できる。(D-2)
2. 薬物療法，身体療法，精神療法，精神科リハビリテーションの具体的な内容についてそれぞれ1つ以上説明できる。(D-2)
3. 統合失調症の病態生理，症状，検査，治療をそれぞれ説明できる。(D-2)
4. 統合失調症患者に対する看護について3つ以上説明できる。(D-2)
5. 気分[感情]障害，神経障害の病態生理，症状，検査，治療をそれぞれ説明できる。(D-2)
6. 気分[感情]障害，神経障害を患う患者に対する看護について3つ以上説明できる。(D-2)
7. アルコール症，ゲーム障害/ギャンブル障害，発達障害・摂食障害などの病態生理，症状，検査，治療をそれぞれ説明できる。(D-2)
8. 高次機能障害・老年期うつ・認知症の病態生理，症状，検査，治療をそれぞれ説明できる。(D-2)
9. 認知症を患う患者に対する看護について3つ以上説明できる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが，参考資料としてプリントも配布する。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，小テスト，リフレクションを行う。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroom等による，学習課題や学習教材の提示・配信，学習課題の提出等。

### 4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	精神症状・精神障害の診断と分類 ①P148～164 ※①②は6. テキスト・参考文献を示す，以下同じ	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤亜紀
2	精神科における薬物療法 ①P265～288	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤
3	精神科におけるその他の治療 ①P236～264，288～290 ②P100～107	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤

4	統合失調症とその看護 ①P165～182	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤
5	気分[感情]障害・神経性障害とその看護 ①P182～201	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤
6	アルコール症・ゲーム障害/ギャンブル障害・摂食障害・パーソナリティ障害 ①P201～207, 215～217	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤
7	高次機能障害・老年期うつ・認知症 認知症を患う患者に対する看護 ①P221～228	講義	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義内で解いた国試問題について復習を行う。	佐藤
8	発達障害 ①P211～214 定期試験	講義 試験	予習：左の授業内容に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：定期試験で間違ったところを復習する。	佐藤

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）82点と小テスト18点（3点×6回）の合計100点満点で評価する。

小テストは，第2～7回の授業冒頭で行う。

小テストは事前に問題を出題する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。

再試験を行う場合，再試験82点と小テスト18点の合計100点満点で評価する。

合格基準（60％）に満たない場合，単位認定できない。

評価対象物は「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に5段階で採点する。なお，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で説明する。

定期試験の出題範囲および評価方法は，事前に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 武井麻子 他（2023）：系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 第6版 医学書院

2) 武井麻子 他（2023）：系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 第6版 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行なうこと。

## 8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の模範解答は後日掲示するか，口頭で回答・解説する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

**11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される。**

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。